

はじめに

「食」は命の源であり、食育は、私たちが生きていくうえで必要な知育・徳育・体育の基礎となるものです。

近年の「食」をとりまく環境は、生活習慣病や少子高齢化・核家族化、孤食といったライフスタイルの多様化の課題のほか、局地的な豪雨や大型台風等の大規模な自然災害が常態化し、食物被害や食糧確保の問題等も発生しております。



こうした中で、食は自然の恩恵や食にかかわる多くの人に支えられていること、食の安全性に対する知識や正しい情報を選択する力を身に付けることなど、食に関する意識を高めることが必要となっております。

また、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、生活を取り巻く環境が大きく変化している中での「新しい生活様式」においても、食事をすることは、食の楽しみや心の豊かさなどを実感することにつながり、子どもたちにとっては、食事の大切さや生命をいただくことへの感謝の心など多くのことを学ぶ機会となります。

本市では、「第2期能代市食育推進計画」の最終年度を迎えたことから新たに「第3期能代市食育推進計画（令和3年度～令和7年度）」を策定いたしました。

本計画では、引き続きメインテーマを「～「食」で育てよう 能代の“わ”～」とし、その推進にあたっては、市民の皆様や地域、関係団体等との連携により、食育や地産地消に関する様々な取組を実践し、生涯を通じて豊かな心と身体が育めるよう、また、生産者と消費者との交流促進や環境に配慮した消費の推進、能代の食文化の継承等に努めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言を賜りました能代市食育推進会議委員の皆様をはじめ、関係各位に心より感謝申し上げます。

令和3年3月

能代市長 齊藤 滋 宣

のしろ食育デー 食からはじまる“おいしい笑顔”

能代市では毎月19日（又は第3日曜日）を「のしろ食育デー」と定め、それぞれが笑顔につながる食育活動を実践することを推奨しています。

目 次

第 1 章 計画の策定にあたって

1. 計画の趣旨	1
2. 計画の位置付け	2
3. 計画の期間	2

第 2 章 第 2 期能代市食育推進計画の主な取組と評価

1. 主な取組と課題	3
2. 目標値の達成状況	12

第 3 章 第 3 期能代市食育推進計画について

1. 基本理念	13
2. 基本方針と基本目標	13
3. 食育推進の体系	15
4. ライフステージごとの取組	16
(1) 乳幼児期 (0 歳～就学前)	16
(2) 学齢期 (小学生～高校生相当)	18
(3) 青年期 (高校卒業相当～39 歳)	20
(4) 壮年期 (40～64 歳)	21
(5) 高齢期 (65 歳以上)	22

第 4 章 食育推進の目標値

資 料

1. 地産地消協力店一覧	24
2. 能代市食育推進会議委員名簿	27

【食育(しょくいく)の意味】

一人ひとりが自らの食について考える習慣を身に付け、食に関する知識や食べ物を選択する能力を習得し、豊かな自然や食に感謝しながら、健全な食生活を実践するための力を育むこと。

【地産地消(ちさんちしょう)の意味】

地域で生産された農産物をその地域で消費すること。